

読書活動の推進に向けた取り組み

図書主任 後藤 由夏里

本校の図書室には、今年度も新しい本が入り、現在約8000冊の本があります。子供たちが6年間の小学校生活の中で、できるだけ多くの本と出会えるよう、さまざまな取り組みを行っています。昨年度からの取り組みである、子供たちが自分のおすすめの1冊を紹介する「学級の本棚」では、上級生や友達が紹介している本に興味をもち、これまでは気にもとめなかった本との出会いになればと願っています。また、今年度も、5・6年生の図書委員が読書週間に楽しい企画を考え、取り組んでいます。卒業するまでに、1冊でも多くの「大好きな本」と出会えるよう、今後も取り組んでいきます。



児童の取り組み「学級の本棚」

昨年度からの取り組んでいる「学級の本棚」です。各学級が展示する時期を決めて、自分がおすすめする本のポップを書き、本と一緒に展示しています。



図書委員会の取り組み「覆面文庫コーナー」

10月の読書月間では、図書委員会が覆面文庫コーナーを設置しました。題名、表紙のわからない本を、図書委員さんのおすすめ文を読んで借りるという、ドキドキのイベントでした。

本校の保護者ボランティア「本よみ隊」の方々が、月1回の読み聞かせや読書週間中の「おはなし会」をしてくださっています。また、図書室内外の掲示・美化活動などもしてくださっています。

月1回の読み聞かせ (始業前)



読書週間中の 「おはなし会」 (中休み)



明化座で演じた劇に関連する お話コーナー

学校図書館支援員との連携

図書室内の環境整備や利用者対応だけでなく、年に数回、様々なテーマでブックトークをしていただいています。また、季節や行事に合わせた特集コーナーの設置や授業で使用する資料収集などの支援をしていただいています。

